

マスクの着用の継続中止要望について

【ご意見】

低血圧で（起立性低血圧）、マスクを長時間着用していると目眩や立ちくらみ、酷い時には転倒のリスクが高い体質です。

こどもも低血圧で、学校から帰宅した際にマスクで息苦しい・・・と訴えています。しかし、学校現場では感染症対策、公衆衛生とのことでマスクを求められる場面が多く、周囲の目もあり、外せず耐えています。

世の中、ワクチン接種も進み、十分に免疫は出来ていると思います。一体、いつまでこのマスク生活が続くのか不安と脅威で一杯です。市役所に幕を掲げてマスク着用をアピールするのはやめていただきたいです。

また、園児、小学校、中学校生にいつまでもマスク着用を求める世相ももう廃止して貰いたいと思います。

教育委員会より小学校にマスクを求めるお便りが来て配布されますが少数派マスク体調不良者には辛い仕打ちです。止めて下さい。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答：教育総務課】

市教育委員会では、小中学校生活におけるマスクの着用について、文部科学省通知、長野県教育委員会教育長通知を参考に、新型コロナウイルスに対する基本的な感染防止対策として、引き続きマスクの着用は重要であることを踏まえ、保護者の皆さまへ学校での基本的な対応（指導）方針をお示ししたところです。

ご指摘のとおり、様々な事情により、マスク着用が困難な

児童生徒もいると思います。この場合、当該児童生徒へ配慮することはもとより、その事情を他の児童生徒や教職員が理解し、お互い（児童生徒一人ひとり）の対応を尊重する指導も必要であると考えます。

つきましては、お子さまの状況により、マスク着用が難しい事情がありましたら、一度、学校に相談いただけると幸いに存じます。事情に則した対応を検討させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

【回答：感染症対策室】

マスク着用の啓発等につきましては、国・県の方針に基づき行っております。

マスク着用は、口や鼻からのウイルスの飛散・吸い込みを抑制する効果があり、基本的な感染防止対策として重要であります。

ただし、マスク着用に関しましては、感染を最大限防ぐためできるだけマスクを着用したい方、触覚・嗅覚等の感覚過敏や呼吸器機能の障害などによりマスク着用が困難な方など、様々な方がいらっしゃいますので、マスク着用については、他者に配慮し、お互いの対応を尊重していただくようお願いしております。